

屋久島農業普及だより

[編集発行]

屋久島事務所農林普及課農業普及係

屋久島町安房650 TEL:0997-46-2236 FAX:0997-46-3384

写真でつづる 普及活動 この1年

農業普及係では、平成29年度は7つの課題を設定し、関係機関・団体と連携を図りながら、活動を行ってきました。今回はその一部を写真で紹介します。

屋久島農業を担う人材の育成・確保

屋久島農業を担う経営体を育成するため、認定農業者の経営改善支援や新規就農者、青年・女性農業者を支援しています。



認定農業者研修会(8月)



パソコン簿記記帳定例会(7月~2月)



経営改善に向けた相談会(随時)



新規就農者励ましの会(8月)



青年農業者会議(8月)



新規就農基礎研修会(9月)



農産加工基礎研修(7月)



食の文化祭(9月)



永田小学校にて食育支援(12月)

地域の特性を活かした畑作農家の育成

畑作物の規模拡大による農家の経営・技術を支援しています。



実えんどう現地検討会(11月) 焼酎用さつまいも現地検討会(11月) 焼酎用さつまいも苗供給システム(11月)

たんかん・ぽんかん栽培農家の経営安定

たんかん・ぽんかんの老木園の調査や品質・生産性向上を支援しています。



「屋久島たんかん」かごしまブランド10周年記念大会(8月)



「屋久島たんかん」ブランド再認定現地審査(1月)



たんかん収穫前のほ場巡回(1月)

屋久島の特性を活かした茶産地の育成

栽培・製造技術の改善や安心・安全な茶づくりを支援しています。



荒茶互評会(4月)



秋期現地検討会(10月)



お茶の入れ方教室(12月)

生産性の高い肉用牛経営の確立・推進

繁殖成績や子牛の育成技術・商品性の向上を支援しています。



畜産共進会(10月)



子牛せり市前学習会(1月)



経営・技術改善の検討

持続的な地域農業の推進

地域農業の維持に向けた集落営農等の話し合い活動を支援しています。



図面をもとに真剣に検討(6月)



負担軽減用装着補助器具実演会(9月)



園芸組合現地検討会(9月)

屋久島の農林水産物を活かした地産地消ビジネスの推進

農業の6次産業化による経営の発展を支援しています。



食品表示研修会(8月)



商標&知的財産セミナー(10月)



「自然の恵み商談会」(11月)

さつまいものつる割病対策

1 はじめに

近年、さつまいもの「つる割病」の発生が増えています。特に昨年は、発生が多い状況でした。根本的な対策は、土壤消毒ですが、そのほかの取り組みやすい対策もありますので、出来ることから始めて品質の高いさつまいもを生産しましょう。

2 つる割病の特徴

- ・定植間もない頃に葉色が黄化し、黒ずんで紫褐色になる。
- ・落葉しやすくなり、地際の株元の茎が縦にさける。
- ・病気が進展すると株がしおれ、のちに枯死しする。
- ・病原菌は、フザリウム菌（カビ菌）で土壤中に存在する。



図 つる割症状

3 病気の伝搬方法

- ・連作等で、土壤中の病原菌の密度が高くなっている。
- ・感染ほ場から収穫されたいもは病原菌に感染している場合があり、それを種いもにすると、苗を通じて感染する。
- ・採苗用のはさみを介しても伝搬する。

4 防除の方法

- ・連作をしない。つる割病発生ほ場は休作するかイネ科作物などを栽培しましょう。
- ・病気の発生したほ場のいもは、は種いもに利用しません。バイオ苗を利用する方法もあります。
- ・採苗用のハサミを、ガスバーナーやアルコール等で消毒しましょう。
- ・病気が発生していなくても、予防の意味からも苗の消毒を必ずしましょう。

ベンレート水和剤

希釈倍率 500～1000倍

植え付け前に20～30分苗基部を浸漬する。

消毒液はその日に使い切る。

- ・苗消毒しても、病気の発生が多い場合は、育苗床や本ほをクロルピクリン、ソイリーン、バスマド微粒剤などの農薬で土壤消毒する必要があります。詳細な消毒方法は、農林普及課にお尋ねください。

(担当：蛭原)

たんかん・ぽんかんの樹高を切り下げて管理しやすい樹づくりを

1 はじめに

樹高が高くなった樹は、樹高切り下げを行い、作業性の改善、病虫害防除効果の改善を図ります。脚立での危険な高所作業を減らせるよう、管理しやすい樹づくりに取り組みましょう。

2 樹高切り下げの方法

- ①目標とする樹高は2.1m。いきなり、2.1mに切り下げるのではなく、樹に負担をかけないため2～3年かけて実施します。

1回の切り下げ程度は50cm程度とします。

- ②樹勢が強い樹は表年(成り年)に、樹勢が弱い樹は裏年に行います。

- ③時期は、発芽前までに実施します。

- ④切り口が大きい場合には、ゆ合促進剤(バッチレート)を塗布し、場合によってはアルミ箔で被覆し、枯込みを防ぎます。

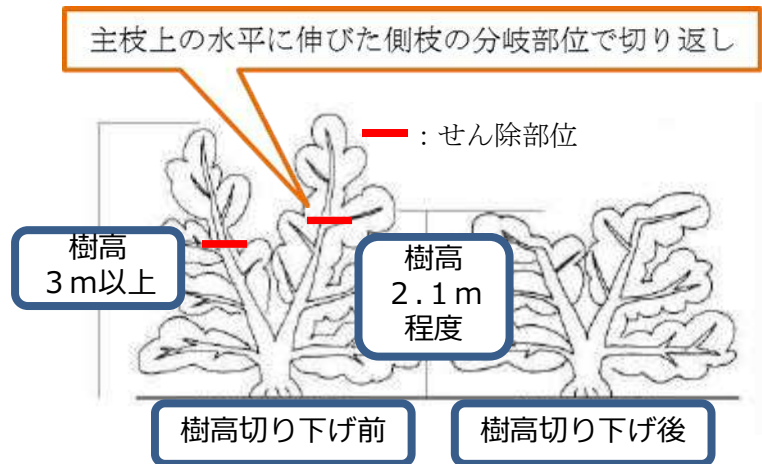


図 せん定方法

(担当：濱上)

農業経営者クラブに入会しませんか？

農業経営者クラブとは

農業経営者の自主的活動組織として、生産・経営技術の高度化や情報交換、ネットワークづくりを行っています。

県内359名の会員数(H29,4月現在)で、屋久島町は17名(果樹6,園芸4,茶4,畜産3)で支部活動を行っています。



中央懇談会(H28:鹿児島市)



島外研修(H29:指宿支部)



支部交流会(H28:始良・伊佐支部)



女性部研修(H27:種子島)

お問い合わせ先

屋久島事務所農林普及課内(農業経営者クラブ事務局)

担当:眞正(しんしょう) TEL:0997-46-2236

青年農業士に認定されました

平成30年2月2日、鹿児島市で農業士認定証交付式があり、屋久島町から青年農業士に大山貴史さん(果樹, 麦生)が認定されました。

屋久島町では22名の方が青年農業士に認定されており、今後も、地域の中心となりながら、さらなる活躍を期待しています。



大山貴史さん

青年農業士とは

農業技術・経営に関する一定の研修を修了し、プロジェクト活動に取り組み、その成果を上げた地域農業振興のリーダーとなり得る青年を、昭和52年度から知事が認定しています。現在、県内で1,411名が認定されています。

屋久島産堆肥がコンクールで入賞!

平成30年2月6日、県堆肥コンクール表彰式があり、屋久島町安房の(有)宝珠産業が奨励賞を受賞しました。

受賞堆肥は、牛糞を主体とする生ゴミ等を添加した混合堆肥で、出品点数50点の中から、色・臭気・品質等を審査され、好成績で選定されました。藤山さんは「審査結果をもとに、さらなる良質堆肥の生産に取り組みたい。」と今後の抱負を語られました。

今後も屋久島産堆肥を活用した、循環型農業の展開が期待されます。



(有)宝珠産業代表の
藤山通孝さん

農大同窓会屋久島支部で交流会を開催

平成29年11月7日、営農支援センターで県立農業大学校同窓会屋久島支部総会および交流会が開催され、世代と経営品目を超えた情報交換や屋久島農業の未来について語り合いました。

県立農業大学校では、一緒に未来の屋久島農業を担う方を募集しています。詳しくは農業大学校教務指導課(日置市吹上町和田1800/TEL:099-245-1071)または農業普及係までお問い合わせください。

